

「市川市総合計画 第三次基本計画（案）」に係るパブリックコメント実施結果

市川市 企画部 企画課

1. 募集期間

令和4年10月22日(土)～令和4年11月21日(月)

2. ご意見を提出していただいた方の人数及び件数

① インターネット	2名	5件
② ファクシミリ	0名	0件
③ 企画課への提出（持参）	0名	0件
④ その他公表場所への提出（持参）	0名	0件
⑤ 郵送	0名	0件

3. ご意見への市の対応

① ご意見を踏まえて、案の修正をするもの	0件
② 今後の参考にするもの	5件
③ ご意見の趣旨や内容について、考え方を盛り込み済みであるもの	0件
④ その他（本案そのものに対するご意見でないもの等）	0件

4. ご意見の概要と市の考え方

No.	概要	市の考え方	対応
1	<p>休日保育が可能な保育園が少ないため、増やして欲しい。夫婦ともに市内に親族がおらず、サービス業のため、土日祝が繁忙で休みを取るのが難しい。</p> <p>現在通っている保育園は土曜保育があるが、日曜、祝日は預けられず、キッズステーションの休日保育を利用して。2022年度は、休日保育を利用する家庭が増えたということで、月に2日しか預けることができなくなった。休日保育を利用できない日はファミサポやシッターさんを利用して凌いでいるが、賃金の殆どを利用料金で支払うことになる。土日祝が休みの職業だけではないことを、もっと知ってもらいたい。</p>	<p>休日保育の拡充等を含めた保育施設の利便性向上は、第三次基本計画における本市の重点課題「子育て世代の定住促進と出生率向上」につながるものです。</p> <p>頂戴したご意見を所管部署に共有し、今後の参考とします。</p>	②
2	<p>この10年の間、震災、新型コロナウイルス感染拡大等、第二次基本計画策定の時には想像していなかったことが起こった。</p> <p>2020年～2022年を次期計画策定のための見極めの期間とされたことは、良い判断である。</p> <p>「施策に横串」を「市民目線」で捉え、「未来へのアプローチ」としたところも素晴らしい。横串ごとの評価も行うということで、PDCAがわかりやすくなる。</p>	<p>計画（案）に対する評価として承ります。</p>	②

No.	概要	市の考え方	対応
3	<p>コロナ禍も3年目に入り、子育て家庭にも変化が出てきている。</p> <p>1、2年目は、コロナ前と比較した不満や、できないことに対しての思いが強かった傾向があったが、今年は、コロナ禍で結婚・妊娠・出産されている方が多くなってきたので、今の生活が日常となってきた。</p> <p>しかし、コロナ前と比べると、コロナ対策や子育て支援に関しても、ニーズの幅・多様化が広がってきているように感じられる。自ら工夫して子育てを楽しむ人が多い中、すべて周りで支えてもらわないとうまくいかない人、自分の思うように支援してほしい人など、多様化も複雑になっている。</p>	<p>今後の参考とさせていただきます。</p>	②
4	<p>幅広いニーズに対応するのは難しいことだが、施策別計画「38. 行政経営」では、「市民ニーズの把握と政策への反映」「民間活力の活用」が挙げられており安心した。</p> <p>ただ、基本計画で謳っていても、各課の事業レベルになると、今まで行ってきた事業をやめるわけにはいかず、すでにニーズから外れている事業が行われているのが現状である。</p> <p>今まで行ってきた事業をすべて白紙に戻すのは無理だと思うが、他にも方法・手段が考えられるような事業は、強制的にも、今のニーズに合った手段に見直すようにしてもらいたい。</p>	<p>市民ニーズを適正に見極め、施策・事業の「選択と集中」や見直しを行っていきます。</p>	②
5	<p>施策別計画「39. 財政運営」では、「最少の経費で最大の効果」を謳っているが、目先の結果にとらわれすぎず、例えば、子どもが安心して暮らせるようにすることが、高齢者や働く世代にとっても住みやすい街になるという他市の実例もでていたので、先行投資の部分も大事にしてほしい。</p> <p>市川が住みやすい街だと実感して、市内に住み心地の良い物件があれば、市外への転出を抑えられると信じている。</p>	<p>第三次基本計画では、将来を見据えたうえで今取り組むべき、実効性・即効性のある施策を講じることとしています。</p> <p>次世代への先行投資につながる取り組みについても、進めてまいります。</p>	②